



半年間の都師会活動報告や施術所  
経営に役立つ話題を掲載！



都内で働くあはき師と  
都民のために

# 都師会会報

# 1. 活動報告

## < イベント活動 >

### < 目 次 >

#### 1. 活動報告

- ・ イベント活動
- ・ 広報活動
- ・ ボランティア活動
- ・ 学術

#### 2. 特別寄稿・読み物

- ・ 鍼灸マンダラ 第5回
- ・ ダブルワークで豊かになる。

#### 3. 各種ご連絡

### 施術体験×企業説明会フェスタ2024 in 東京

日時：令和6年6月9日(日)13:00~16:30

会場：東京都立産業貿易センター浜松町館3階展示室

住所：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝

主催：セイリン株式会社

参加者：成田卓司、北村博一

参加企業：42社 来場予定者：120名



目的)

業団組織強化の一環として、企業説明会にされる学生さん及び既卒一年目の方々に業団のPRと入会の案内を行う。

内容)

参加企業が説明会ブースを開設、全日本鍼灸マッサージ師会関東ブロックとして業団説明ブースと実技ブースを開設。

初めに特別講演として岡本真理先生『美容鍼の未来「これまで」と「これから」～』があり、その後予めネットで応募した就職希望者約120名がそれぞれのブースを見学。全日本鍼灸マッサージ師会の入会案内も兼ねて、災害支援活動(D-SAM)の動画を再生しながらリーフレットを配置。また埼玉県師会は入会案内のチラシを配置、東京都師会は入会案内と講習会や実技動画のQRコードを印刷したチラシを配置。

結果)

来場者10名 (※千葉県3名、埼玉県3名)

※実技希望者1名

所感)

今回の説明会は、参加企業、来場者ともに多いこと

もあり、盛況であったと感じました。参加企業ブースは、ポスターなど様々な装飾が施され、イベント慣れしている感がありました。また当会のブース設置場所も会場受付近くにあることを好機と捉えたことによって多くの来場者の目に留まることが出来、また来訪者の学生さんも熱心に説明を聞いてくださったと思います。

最後に今回の説明会は、参加企業は42社、来場者も120名近くである中で、業団の出展は東京都師会のみであったことから、結果良い宣伝の場に出来たと感じました。

都師会 副会長 北村 博一

## 第23回東洋療法推進大会 in 徳島

日時：令和6年9/29⑩ 9/30⑪

場所：徳島グランヴィリオホテル

大会テーマ「新たな潮流・生み出す未来」

特別講演① 丸岡いずみ氏「現代人の抱える不調と東洋医学の可能性」

私が一番良かったと思うのは「うつ病」の体験を鍼灸により克服された事です。西洋医学もありですが、ご本人が東洋医学を選択し、それなりの結果を得られたと言う事が新しい時代の流れだと思います。

特に問診に1時間も鍼灸師から問診を受けたというのは驚かされたと話されました。

現代の医師の問診は5~10分程度、しかし鍼灸師は丁寧な問診、望診、舌診等、触診と幅広くされたのが、とても良かったと言われました。(西洋医学ではアセスメントと言う)

私自身、鍼灸マッサージ師として、東洋医学の道を歩んではおりますが、1時間の問診はしておりません。しかし、これからは東洋医学の素晴らしさはこの問診にあると思います。心と体を触れる。身心一如(しんしん いちによ)心と体は切り離して考えずに、一体であるという考え方を実践するのが東洋医学の神髄と気づかされた。

しかし採算を度外視してやれるかという不安がある。それなら少しずつ問診をやればよいのではないかという考え方もある。それなら初診の時は予約制にすればよいのではないか。以前聞いたことがある。新宿にある山の手病院は痔の手術では古今東西随一と

噂されていた。その医師は問診に2~3時間かけると聞いたことがある。これからは丁寧な仕事を心掛けたい。無資格の業者との差別化はここにあるように思う。徹底的な学びを生かすには圧倒的な医療の情報を持ち合わせている我々に軍配は上がると感じる。目先の利益よりも、一生の利益、つまり患者にも施術者にも共に健康で長生きできる信頼は、ここ圧倒的な問診にあるのではなかろうか。

都師会 理事 岡野信久

## ◎フェムテック事業に関する件

現在、全鍼師会ではフェムテック事業に力を入れております。その背景には鍼灸マッサージは女性の不定愁訴に効果が期待でき、フェムテック事業を通じて鍼灸マッサージの価値を社会に広く発信し、国民の健康に貢献したいという思いがあります。そこで昨年から関西医科大学の先生などの力をお借りし、AIを活用して施術に関するアンケートを取っています。

①特別講演(9月29日)

演題「フェムテックに鍼灸マッサージを ~やさしいAIとNudgeで実現できる~」

講師 関西医療大学 フェムテック寄附講座 特認教授 菅 万希子先生

昨年から行われているフェムテック事業の現在までのアンケート結果と考察等について報告がありました。

<方法>

パイロット調査を患者用、施術師用とわけて行う

<集計結果からマーケティング考察(一部)>

- ・腹部と下肢に効果があった
- ・手足の痛みの緩和には施術環境が相当重要である
- ・ストレスや不眠の施術には満足度が高い
- ・不容、梁門、人中 に人気がありそうだ

大会開催時点ではアンケート回答数が全然足りず、今後全国の先生方に協力して頂き多くの調査結果からエビデンスを出したいとのこと。

②シンポジウム組織・将来ビジョン等検討委員会(9月30日)

パネリスト:フェムテック委員 清水洋二先生

<フェムテックの今>

- ・国では経済産業省が女性の健康をテクノロジーで増進させたいと力を入れている

・海外では従業員（女性）の健康増進で企業の生産性を上げる取り組みが行われている

・厚労省はまだ手付かず

・ゼンシンでは菅先生にお願いしてマーケティングしているところであり、患者の満足度がどうしたら上がるのか今後エビデンスを出していきたい

<今後について>

・研究結果は全国の先生方にフィードバックする

・結果を中心とした認定講座を検討中

**【！！お願い！！】**

・アンケートをまずは1回開いてみてほしい

・とにかく多くの調査結果が必要なのでアンケートをお願いします！

感想)

今回の大会では長嶺会長から直接お願いされる場面もあり、ゼンシンの先生方のフェムテックに掛ける熱い思いを感じられました。

結果は必ず私達に戻してくれるとのことですので、東京都でもしっかり協力していきたいと思いました。

今回、推進大会に参加させて頂きありがとうございました。

■アンケートご協力をお願いします

目的：関西医療大学フェムテック寄附講座の調査研究

※アンケート調査の結果は後日、公開

【あはき師用】 <https://questant.jp/q/sinkyu>

【女性患者様用】

※治療後にご回答ください（治療ごとに何度も回答いただいて結構です）

<https://questant.jp/q/patient>

都師会 理事 今泉 繭子

## 第17回JIMTEF災害医療研修アドバンスコース

日時：2024年8月24-25日

場所：JICA 東京

参加の動機は、かねてよりあん摩マッサージ指圧師、鍼灸師（はり師、きゅう師）に門戸を開いているJIMTEFに関心があったことと、令和6年能登半島地震でボランティアの誘いを受けたものの、いざ本気で行くつもりで計画を進めるうちに、専門知識を得ることが重要な事前準備の1つだと気づいたことです。

JIMTEFの研修は、アドバンスコースの前にベーシッ

クコースを受講します。

災害医療の体系的な知識や過去の災害での活動の実際、各医療従事者の視点での活動の実際など、一般の書籍等では得られない専門知識を幅広く学びます。Web研修で、1か月の期間内に合計17時間を受講します。働きながらの学習としてはなかなかのボリュームです。

ベーシックコース修了者はアドバンスコースの受講が可能になります。

今回の会場は東京・幡ヶ谷のJICA 東京で2日間、三療師（参加者の免許構成：鍼灸師、鍼灸あん摩マッサージ指圧師、あん摩マッサージ指圧師）のほか、各種医療関連の国家資格、医療関係団体資格を取得している参加者と共に避難者の受入や本部運営をゲーム化した体験ワークや災害食の調理体験をしました。ゲームとはいえ、何もかもが不足している中で避難してきた人達を受入れ、安全衛生を保ち、得体の知れない突発イベントに息つく間もなく対応し続けるという、出口の見えない混乱の継続を経験することができました。ゲームであってもそれは恐怖の一言でした。また災害食の準備は配給から始まり、こちらもまた混乱の疑似体験をすることができました。この2日間を通じて深く印象に残ったのは「混乱」と「恐怖」です。被災された方はもちろんのこと、自身も被災しながら支援者として働く現地職員の混乱と恐怖は非常に大きいことを知ることができました。DSAMがなぜ支援者支援として求められているか、その重要性を再認識することができた貴重な機会となりました。

災害医療に関する研修はさまざまな団体等で行われていますが、あはき三療以外の視点をもつこと・被災地に絶対に負荷をかけない自己完結、自己責任を旨とした活動について具体的に準備をしたい人にぜひお薦めしたい研修でした。

都師会会員 嶋田江利香



## < 広報活動 >

### 自民党区議とのヒアリング報告

日時：8月20日(火)14:50-15:20

場所:墨田区役所

参加:墨田区三療師連合会(墨田区はり・俣・あん摩マッサージ指圧師会、墨田区鍼灸師会、墨田区視覚者福祉

協会)以下の要望者を提出

\*墨田区とあはき師の関係をより強固なものにしたい

1、三療券の利用率を上げるための取り組みへのご協力願ひ

2、三療券の対象拡充(子育て支援向けや医療、福祉従事者向け等の新設)

3、墨田区とあはき師で、災害発生時に協力できるような災害協定を結びたい

ヒアリング終了後、墨田区防災課の課長、係長と繋いで頂き話を進めることで合意しました。

### 国際鍼灸専門学校社会あはき学講義



内容：「業団と役割」

日時：2024年9月14日

講師：東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会 理事 松永公子

対象：国際鍼灸専門学校2年生

<様々な団体について>

1 学会・・・学術、学問を追求する団体

(公社)全日本鍼灸学会、日本伝統鍼灸学会、経絡治療学会等

2 業団・・・職業環境を整備する為の活動をしている団体

・一般社団法人:設立は比較的容易、それぞれの目標をたて活動

・公益社団法人：自他共に認めるその業界を代表する。「自」自分で代表を標榜するのは自由 「他」他者

から認めてもらう。設立には内閣府もしくは都道府県の認定が必要であり、公益認定を取得するために様々な書類を提出し、組織としての信頼性、公益性を審査してもらい承認された団体 公益のために活動している団体の為、税制等優遇あり。

・「あ・は・き等推進協議会」・・・(公社)全日本鍼灸マッサージ師会、(公社)日本鍼灸師会、(公社)日本あん摩マッサージ指圧師会、(公福)日本視覚障害者団体連合、(公社)全国病院理学療法協会、(公社)東洋療法学校協会、日本理療科教員連盟

<業団の活動>

・日本の医療制度の中であはき師の立場を確立する

・法律の整備、療養費(医療制度の中の報酬)の金額を決める交渉

・あはき師の資格を保証するための法律を守る活動

・厚生労働省「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、及び柔道整復師の広告に関する検討会」

(平成30年5/10-令和6年7/12)

・「治療院」の名称が「業態+治療院」で可能

・「あはき柔整等に関する広告のガイドライン」の中に「無資格者の行為に関する広告について」の項目が盛り込まれる

<(公社)東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会(以下 都師会)の活動概要>

① 都行政との交渉、要望提出、指導を守る等の活動

② 各部局の概要

学術局：東京都委託施術者講習会、スキルアップセミナー

保険局：厚生労働省など都行政機関からの情報をお伝えし、療養費のための情報、サポート及び講習会

スポーツ災害局：災害支援活動、スポーツ大会等でのサポート、選手のコンディショニング

視覚障害局：視覚障害のある方々のための情報収集

③ 都師会入会のメリット

・業界代表団体の一員として行政に自分たちの意見を直接伝える場を持てる

・未来のあはき業をどうするか=将来の自分があはき業をどのように生きていくか、具体的に考え実行していくことの出来る場を提供される。

今、私たちがあはき師として働ける場があるのは過去の業団の人等が交渉して勝ち取ってきたからです。

## < ボランティア活動 >

### 墨田区民体育祭「庭球大会」鍼・灸・マッサージ体験施術ボランティア録

日時：9/22 (日)7:30-18:00

9/29(日)7:30-18:00

場所:墨田区錦糸町テニスコート(墨田区錦糸 4-15-1)  
テニスコート脇

主催:(公社)東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会・墨田区はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会

参加者:坂本大輔、湯澤俊紀(墨師会)下條隆宏(墨師会、東鍼会)南周宏(都師会)鈴木恭平(墨師会、都師会)松永公子

種目) 9/22 (日)

8:00 女子ダブルス 12:00 男子シングルス 16:00  
男子シングルス  
女性 9名 男性 13名

種目) 9/29 (日)

8:00 女子シングルス 12:00 男子シングルス 16:00  
男子シングルス  
女性 17名 男性 9名

・主な施術部位は圧倒的に腰が多く、ついで頸、肩、肘。

2023 10/8 にスタートしたボランティアが認知されてきて選手自ら積極的にブースへ足を運ぶようになり、リピーターも増加傾向、待ち時間が多いテニスの試合で好評になっております。

又、大会の受付スタッフがほぼ全員施術を受ける様になり、浸透してきています。

以下、墨師会の会員で今回 2 日間終日参加してくれた坂本先生の感想です。

「2024 庭球大会鍼灸マッサージ無料体験の実施に携わらせていただき、感じた事」

今回、9月22日、29日と2日に渡り参加をさせていただきました。施術を担当をした方々の健康に対する意識の高さを強く感じました。既に整骨院や鍼灸院、整形外科に通いながらの趣味を嗜まれているとの事で、今回このような鍼灸マッサージの無料体験をされている事に「とても助かりました」と多くの声を頂きました。また、鍼灸を始めて受けていただいた方については、

「鍼一本でここまで効果があるなんて」「お灸もとても心地よく受けられた」と言った驚きの声も頂きました。

少しでも啓蒙活動に貢献出来たのではないかと感じております。普段の施術とは違い、限られた時間内でどれだけ効果を出せるか。とても貴重な経験をさせて頂き、日々の施術においてさらに精進して行ければと感じました。

墨師会 坂本大輔



## < 学術 >

### 令和6年第3回東京都委託施術者講習会

日時：令和6年9月22日(日)14:00~17:10

講師：栗原勝美 先生

(元東京都立文京盲学校主任教諭・日本理療科連盟前会長)

会場：n a t u r a l a c k 神田貸会議室

主催：東京都はり・きゅうあん摩マッサージ指圧師会  
テーマ 『主な腰下肢症状とあはき施術』

○ 講習内容

主な腰下肢症状として、坐骨神経痛と下肢における絞扼性神経障害を中心に神経の走行とそれに纏わる症状を講義と実技を並行して行いました。

坐骨神経痛について、まずは坐骨神経の起始根と走行、仙骨神経叢の起始根と走行及び脛骨神経と総腓骨神経の走行についてモデルを使い解説。

坐骨神経痛とは何かとその原因、坐骨神経痛を主症状とする主な疾患の特徴。また特異的腰痛と非特異的腰痛、非特異的慢性腰痛の考え方や慢性腰痛に至る心理社会的要因を解説。

※レッドフラッグの疾患に留意した診察について、例

えば悪性腫瘍の影響による症状など(※例絶え間ない痛み、夜間痛、急激な体重減少など。) ※詳細は講習会資料参照

あはきで治療する機会の多い主な疾患については、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間関節性腰痛、骨粗鬆症による腰背痛、筋・筋膜性腰痛、高齢者の慢性腰痛などの病態における症状、診察法及び検査法など、モデルを使い説明。

また、下肢における絞扼神経障害については、梨状筋症候群、大腿外側皮神経障害、HUNTER管症候群、総腓骨神経障害、足根管症候群、MOTON病、踵部痛などの病態の特徴、診察法や判別の仕方、または触診法による注意点(※骨盤周囲の触れ方及び声掛け)など、末端の動脈拍動から確認することなど、モデルを使い実演。

鍼の実演では、腰下肢の神経絞扼部位の確認、神経近傍刺激として腰部(大腸俞か腰眼付近の治療点)と臀部(梨状筋下孔部)に鍼通電療法を行う。※梨状筋下孔の取穴方法として上後腸骨棘から下方約7cm(2寸の鍼管の長さ)で取穴。使用した鍼は2寸-5番、4寸-10番。鍼通電療法を用い、約1Hzで約数分刺激を加えた。その際、目的の部位に刺激が伝わっているかを確認。刺激量について患者さん(今回はモデル)と確認。

※質問として、患者さんの症状と鍼通電療法を用いた場合の刺激量との兼ね合いについて、講師からは低周波(1Hzから10Hz)で10分から15分であれば効果にさほど差は無いとのこと。但し、急性疾患の場合は、高周波(50Hz以上)で5分として行うことがあり、過度な筋強縮、易疲労に留意すること。すなわち患者さんの症状をしっかり把握することが大切であるとのこと。

#### ○所感

どの施術所も一日一人は必ず上記の症状を診ることがあると思われます。今回の講習会は、ご参加頂いた先生方に対して知識、技術の再確認と施術方法の引き出しの拡大の場として捉えて頂けたらと考えております。

このような講習会を主催するにあたり、私個人的な考えとして、講習会の内容を翌日に話したくなるよう

な、また技術を使いたくなるような講習会にしたいと講師にお伝えしたところ今回の内容となりました。個人的に講師持参の特注4寸鍼には驚きましたが、ご参加頂いた先生方にもそれぞれ何かを持ち帰って頂ければ成功したと思います。

最後に、今回の講師を引き受けて頂いた栗原勝美先生、モデルになって頂いた先生、そしてご協力頂いた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

都師会 副会長 北村博一

### 令和6年度第2回松塾報告

日時：2024年7月6日午前10時~12時半

テーマ：『素問』宝命全形論篇の「治神」解釈と臨床像について(その2)

会場：東京神田の都師会会館3階会議室及びZoom

講師・松田博公先生(本会顧問)

前回に続き、『素問』宝命全形論の「治神」について、最も古い唐代の楊上善、王冰の解釈を基準に、唐代から現代までの注釈書と中医学論文を検討し、どれが正しい解釈の系譜かを考察しました。宝命全形論は「治神」こそ、鍼灸師にとって最も大事な眼目だと宣言していますが、それが何を指すのか、決定的な答えはまだ見つかっていません。

宝命全形論の「治神」の解釈は、唐初の楊上善と約100年後の王冰では異なります。楊上善は、「治神」とは治療家が自らの「神(生命エネルギー)」を日常的に養い充実させることであり、それを行い健康になった治療家のみが患者に鍼をする資格があると説いています。王冰は、「治神」とは臨床現場で自らの「神(生命エネルギー)」を集中することとしています。

現代までの注釈書、論文は、王冰の解釈を継承するものが多数派です。しかも王冰は「神」を「生命エネルギー」と古代概念で理解していましたが、現代になると「神」を「精神(意識)」と理解し、それが「臨床現場で精神(意識)を集中する」という、現在主流になっている、間違った「治神」解釈の元になったことも推測できました。現代でも、少数の注釈書、論文は、「神」を「生命エネルギー」とし、「治神」を日常的に身心を陶冶し、神気を体内に充実させるという楊上善の解釈を踏襲しています。

次回10月5日の松塾では、こうした「治神」解釈

の差異が臨床像の違いにどう反映するかを、天人合一思想と関連させて分析します。

アーカイブ動画が YouTube 東京都師会チャンネルにアップされています。どうぞご覧ください。

## 令和6年度第3回松塾報告

日時：2024年10月5日（土）午前10時～12時半

会場：東京神田の都師会会館3階会議室及びZoom

講師・松田博公先生（本会顧問）

テーマ：『素問』宝命全形論篇の「治神」解釈と臨床像について」（その3・完）

全3回シリーズの最終回。『素問』宝命全形論は、「治神」こそ鍼灸師にとって最も大事な眼目だと宣言しています。では「治神」とは何を指すのか、歴代の解釈のどれが正しいのかを、唐代から現代まで40の注釈書と中医学論文に基づき検討しました。さらに、「治神」の解釈が違くと、目的とする臨床のイメージも違ってくることを示し、わたしたちはどんな臨床を目指すべきかを議論しました。宝命全形論の「治神」の解釈は、唐初の楊上善と約100年後の王冰では異なります。楊上善は、「治神」とは治療家が自らの「神（生命エネルギー）」を養い充実させることであり、それを行い健康になった治療家のみが患者に鍼をする資格があると説きます。王冰は、「治神」とは臨床現場で自らの「神（生命エネルギー）」を集中することとします。

現代までの注釈書、論文の多くは、王冰の解釈を継承しています。しかし、王冰が「神」を「生命エネルギー」としていたのに対し、現代では「神」を「生命エネルギー」ではなく「精神（＝心）」として、「臨床現場で精神（意識）を集中する」と間違った「治神」解釈をしています。それが現在の主流なのです。

今回の講義では、「神」を「生命エネルギー」とし、「治神」を日常的に身心を陶冶し、神気を体内に充実させるという楊上善の解釈の系譜を正しいとしました。さらに、そのような立場が、鍼灸師と患者が天地宇宙の大きな気の場で共に生きることによって、健康で平和な社会を作るといふ臨床像に繋がることを明らかにできました。

アーカイブ動画は、近く YouTube 東京都師会チャ

ンネルにアップされます。どうぞご覧ください。

## 2. 特別寄稿・読み物

※掲載が前後してしまい失礼いたしました。

### 鍼灸マンドラ——東洋思想と鍼灸

第5回 ドーゼの理解が失敗を防ぐ（後編）

片桐正喜

#### ●前回のまとめ

今回は、ドーゼについての基本的内容について書かせていただきました。主な内容は、次のようになります。

・ドーゼとは刺激量のことであり、その許容量は人により異なる。

・師匠（故・坂井秀雄先生）は、刺激の許容量の小さい（＝少ない刺激で大きく変化してしまう）人を虚証、許容量の大きい人を実証として（※）、微細な刺激量のコントロールを行っていた。（※これはドーゼの許容量を基準としたものであり、一般的な東洋医学の定義とは異なる）

・実証の患者に少なすぎる刺激を与えても、治療効果が出ない。

・虚証の患者に許容量を超えた刺激を与えると、ドーゼオーバーになる。

・適切な治療を施すためには、その患者のドーゼに合った刺激量を与えることが必要となる。

・ドーゼオーバーは「自然治癒力」の働き過ぎであり、だるくなる、動けなくなる、発熱するなどの症状を呈する。（トラブルの原因となり、また鍼灸への不信感を与えることにもなる）

以上から、鍼灸治療において、虚証・実証の見極めと、ドーゼのコントロールは極めて重要といえます。今回は、前回の内容を踏まえた上で、虚証患者の治療と、ドーゼオーバーへの対処について見ていきます。

#### ●虚証患者の治療（1）番手と本数

ドーゼについて、師匠は常々、「実証の患者は、ちょっとやそこら雑に治療しても（治る・治らないは別として）悪くなることはほとんどない。でも、虚証の患者は本当に注意が必要だ」と言っておられました。

師匠が虚証の患者の治療を行う際は、鍼は番手の細かいものを、浅く、本数も少なめに打ち（刺激に敏感な

ので、弱刺激でも十分効果を発揮する)、冷えないようにしっかり温めます。

例えば前回、「虚証は主に3番鍼、超虚証は1番鍼を用いる」と書きました。

治療院では、鍼を番手ごとに数十本まとめて鍼皿に入れて保管・使用していますが、あるとき何かの手違いで、師匠が使っていた1番鍼の鍼皿に、何本か3番鍼が混じていたことがありました。これに気づいた師匠は私を呼んで「これ、鍼が混ざってるから、すぐに分けてくれ」と言った後で「1番の患者に3番を打ったら、本当に大変なことになるからな」とおっしゃっていたことがありました。

「大変なこと」というのは、いうまでもなくドーゼオーバーのことです。1番鍼と3番鍼の違いはわずか0.04mm、しかしたったこれだけの違いで、虚証の患者の体は大きく異なる反応を示すのです。

虚証の特徴である「肌の表面がきめ細かい人」でも、軽く指圧してみると中がガチガチに硬い、という人も少なくありません。「こんなに硬い体を、細い鍼を少ない本数しか使わず治せるのか？」などの考えが頭を巡ったりするのですが、師匠は、「虚証とわかっているけど、“体が硬い人”には、鍼をたくさん打ちたくなる。しかし、打ちたい気持ちを抑えなければダメだ」とおっしゃっていました。

また、師匠は治療において、“その人のツボ”すなわち反応の出ている場所を指先で探りながら鍼を打っていくわけですが、それでも「だいたいどの患者でも打つツボ」というのは、いくつか決まっています。実証の患者の場合、例えば腰であれば、膀胱経の腎兪、気海兪、大腸兪はほぼ必ず打ちますが、虚証の場合は体の状態を見ながら、このうちどれか一箇所を除いたりするわけです。

散鍼のような、超弱刺激の鍼であっても、虚証と実証ではやり方を変えます。

(実証は鍼を立てて「チョンチョンチョン……」と刺激していいのですが、虚証の場合は鍼を斜めに持ち、ホウキで払うように流します)

こういった神経質とも言える刺激のコントロールが、治療の失敗を防いでくれるのです。

### ●「超虚証」の患者の方から聞いた話

このような話を聞くと、「細い鍼でもドーゼオーバ

ーが起こることなんて、本当にあるのか？」と思う人がいるかもしれませんが、かつて「超虚証」の患者の方から、非常に興味深い話を聞かせていただいたことがあります。

その方によると「鍼を(刺すのではなく)体に置かれただけでも、体に変化するの分かる。鍼を数本打ただけでも、グツタリしてしまうことがある」とのことでした。超虚証の患者は、これくらい敏感(刺激の許容量が小さい)なのです。

### ●虚証患者の治療(2)手足の指圧

虚証患者は、抜鍼後、手足を「気持ちよく」指圧します。これは、手足に主訴がなくても、ほぼ必ず行います。

あくまで「気持ちよく」なので、例えば手の曲池や足の三陰交などは、指圧でも響きやすい経穴ですが、このようなところも決して響かせず、痛みを感じさせないようにし、患者に「強さは大丈夫ですか？」と確認を取りながら、あるいは表情の変化、全身の緊張の有無などに目を配りつつ指圧します。(ただし「手掌と足底は強く指圧してもいい」とも言われました)

なぜ虚証の患者は手足の指圧をするのか——この理由について師匠に詳しく聞いたことはないのですが、私個人としては、手足の要穴への弱刺激、それに加え手掌・足底の反射区への刺激を狙っているのではないかと考えています。ソフトな指圧は刺激量もごく小さいため、ドーゼオーバーも起こしにくいといえます。

### ●「虚証はウソをつくから気をつけろ」

とはいえ、虚証の患者は指圧でも“やり過ぎる”とドーゼオーバーを起こします。ここは特に注意が必要なところですが、患者が「気持ちいい」と言ったとしても、調子に乗って(笑)虚証の患者に指圧をしすぎると、鍼刺激は適切だったとしても、指圧でドーゼオーバーを起こすことがあります。

これと関連する興味深い話として、師匠から何度か「虚証はウソをつくから気をつけろ」と聞かされたことがありました。

虚証は、心理的な緊張が強く「自分をよく見せたがる」「相手に気を遣いすぎる」がゆえに、指圧や鍼が痛すぎる・キツすぎる場合でも「大丈夫です！」と答えるというのです。(私も虚証気味のため、心当たりは大い

にあります(笑))

しかしそれはウソであり、ガマンさせるとドーゼオーバーになります。(これは、施術者側が気づかなければなりません)

なので鍼にしろ、指圧にしろ、「虚証はウソをつくから気をつけろ」なのです。

(逆に、超実証の患者は「ここと、ここと、ここに打って!」と治療について指図してくることも少なくないので、その場合はその通りに打って「満足させて帰す」というのも大切です。もちろんさりげなく「本当に必要な場所」にもしっかり打ちます)

### ●ドーゼオーバーへの対処

では、患者がドーゼオーバーを起こしてしまった場合はどうしたらよいのでしょうか。

これは、指圧と加温が基本になります。足三里を中心に下腿にホットパック(治療院ではパラファンゴパックを使用)をのせて温め、なでるようにごく弱めに指圧を行います。全身が緩んでくると楽になるので、様子を見ながら、手足や首を軽く動かすような運動をしてもらったり、あるいは手足の井穴に刺絡を行うこともあります。

ただし、このような対処をして、すぐ回復する人もいますが、ぐったりしたまま動けない人もいますので、そのような場合はしばらくベッドで休んでいただくようにします。

### ●小児鍼でもドーゼオーバーは起こる

師匠は、多くの子供(赤ちゃんから幼稚園児、小学生など)も治療していました。

小児に対しては、テルミーという温熱治療器と、師匠の手製の小児鍼で治療し、最後に主要な経穴に円皮鍼を貼るのですが、子供の許容量に対して円皮鍼を多く貼りすぎてしまった場合、それによりドーゼオーバーとなり、帰宅してから発熱することがあります。

その時は、すぐに治療院に呼び戻して円皮鍼を剥がし、軽い指圧と、ごくごく軽い鍼を行うことで対処します。

(※この辺は紙面には書けない内容もあるので、あくまで原則論としてとらえてください)

ですので、「小児鍼のあとで発熱した」という場合は、まずドーゼオーバーを疑うようにしてください。

### ●施術者の姿勢

二回にわたってドーゼについて書かせていただきましたが、最後に一つ加えるなら、ドーゼのコントロールは施術者本人の“姿勢”が大きなポイントとなる—ということがあります。

「気持ちいい」と言われても得意にならず、いいところを見せようとして(許容量以上の)鍼を打ち過ぎず、「もっと強い刺激を」とリクエストされても「ダメなものはダメ」と突っぱねる。(ただし、言葉は選ぶこと)

ことドーゼの問題に関しては、謙虚さと同時に「ガンコさを貫く」ことも大切になります。

また、たとえ患者の方がドーゼオーバーを起こしたとしても、慌てることなく、適切に対処し、また患者の方を安心させるような言葉の使い方ができるよう、ドーゼに関する理解を深めていただけたらと思います。

(※ドーゼについては、人により定義や考え方に違いが見られるようですが、本稿では、私が師匠から教わったことをもとに書かせていただきました)

## 「ダブルワークで豊かになる。」

都師会 理事 岡野信久

私の会社は R2 年 2 月からのコロナ禍で売り上げの 40%を失った。更に大手の有料老人ホームの契約も打ち切れ、大打撃を被った。しかし、R6 年に入って鍼灸マッサージと成年後見人で V 字回復しつつある。この 4 年間に亘る軌跡をお伝えして、皆様を幸せに導きたい。

[国家資格が会社を救う]

既にこの鍼灸マッサージ業界は無資格のお店を始め、乱世である。たまたま、私は 57 才で精神保健福祉士、60 才で社会福祉士、64 才で介護福祉士の国家資格を取得していた。30 才の時、4500 万円の負債を抱え倒産した時、ある金持ちの女会長より学んだことがある。「いつか金はなくなるが、国家資格があると金はなくなるらない。」その言葉を実践したのである。

[鍼灸マッサージと成年後見人の相乗効果]

今年の春、昭和大学(医学部)付属烏山病院・精神科の患者さんの成年後見人となった。その縁で閉鎖病棟

の患者さん達に指圧・マッサージ講習会を開く事になった。第1回目は6月14日(金)だった。これが、患者さん・看護師・作業療法士達に大好評となり、7月・8月と続いた。更に来年も開催することになった。目的は精神疾患で悩む方への鍼灸マッサージのアプローチである。

[まとめ]

鍼灸マッサージの他にもうひとつ国家資格を取得する事で、新しい世界が開ける。目標はダブルワークで1000万円以上の収入が得られる社会がある。私の場合は社会福祉士である。皆様も新たな学び「リスクリング」で人生を豊かに過ごしてみませんか？自由な時間も得られ、より豊かな人生を歩めます。40歳で悩まず、国家資格取得に挑戦すると年金暮らしになっても安心して生活が出来ます。

### 3. 各種ご連絡

①<<訃報>>令和6年7月15日、去る4月14日



に逝去された 公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会伊藤久夫前会長の「お別れの会」が都シティ大阪天王寺で開催されました。全鍼顧問で内閣府特 命担当

大臣 参議院議員の自見はなこ氏、鍼灸マッサージを考える国会議員の会会長 参議院議員 衛藤晟一氏、衆議院議員 伊佐進一氏等、生前ご縁のあった方々約200名が参集しました。都師会を代表して成田が参加しました。

故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



②昨年度の角屋先生の講義の感想をいただきました。

「語る指圧」を視聴して(T.H)

先生の語り口はとてもフレンドリーに投げ込んでく

る感じで、古典の世界に没入しやすいものでした。誰もが古典の勉強の必要性を感じ、勉強を始めるけど挫折する。そういった古典嫌いの人に対して、もう一度古典と手を取り合って仲良くしてみませんか？と語ってくる切り口はとても甘い誘惑であり、また始めようかと腰を上げさせる。実際のところ、誰もがめんどくさいと思う要所の説明を飽きない程度に散りばめ、これならばと思う事が多く、とても助かりました。また、毎回必ず最初に復習があり、それを聞いていると、前回の古典の勉強の説明も脳裏に浮かぶので、古典の勉強の復習ができとても良かったと感じました。もちろん本題の医学古典を学ぶという点においても、丁寧にその背景も説明して頂きとてもわかりやすかったです。惜しむらくは事務システムに問題が散見されることでしょうか。自分の場合はzoomの案内メールが2回程来ませんでした。こちらから問い合わせたところ、とても丁寧に対処して頂き、人には問題はなく、事務システムの構築が急務なのではと感じられました。逆にとても丁寧な対応をして頂き恐縮です。また機会があれば、別の話も受講してみたいと思います。その際はよろしくお願いします。

③当会上部団体全鍼の公式 LINE のご案内

当会上部団体の全鍼の公式 LINE 立ち上がりました。みなさま「友達登録」をよろしくお願いします。LINEの[ホーム]ボタン⇒右上[友だち追加]ボタン⇒🔍検索ボタン⇒ID を選び⇒検索内容欄に、[@726dytg](https://lin.ee/jzAXASO) を入力或いはコピーし、🔍マークで検索すると追加できます。

(公社) 全日本鍼灸マッサージ師会  
LINE公式アカウント「友だち募集中」

ID : @726dytgz

URL : <https://lin.ee/jzAXASO>



④東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会 理事公募のお知らせ

令和7年度は役員改選の年です。新しく理事を選任するに当たり下記の通り候補者を広く会員の皆様の中から公募致します。ご応募お待ちしております。

記)

### **1 立候補の条件**

- ・正会員であること。
- ・現在会費の滞納が無いこと。
- ・免許取得後 2 年以上経過していること(令和 7 年 4/30 現在)

### **2 受付期間**

令和 6 年 12/2(月)～令和 7 年 2/28(金)

### **3 募集人数**

数名(理事定員 3～12 人以内)

### **4 公募の流れ**

- ・受付期間内に所定の立候補届出書及びアピール文を事務局に提出して下さい。
- ・受付期間終了後に現役員と面談を実施します。(面談日程は別途ご連絡致します。)
- ・令和 7 年 3 月の理事会にて候補者を選定致します。
- ・選ばれた候補者の方には個別にご連絡致します。
- ・令和 7 年度定時総会(5 月後半開催予定)にて候補者を承認致します。

### **5 理事業務内容**

任期は 2 年です。

年間 6 回程度の理事会と総会に出席。

主な業務は各事業部の活動と、その他会務全般です。

若干ですが活動費を支給予定。

### **6 立候補届出書の提出先(郵送 FAX e-mail 何れでも可)**

公益財団法人 東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会 事務局 宛

〒101-0042 東京都千代田区東松下町 37-4

公益財団法人 東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会会館 4 階

TEL : 03-3252-8811 FAX : 03-3252-8822

e-mail : toshikai8811@ybb.ne.jp

東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会

<理事公募 立候補届出書>

※別添参照

※本書類の他に臨床実績、あはき業界や業界団体に対する想い等を 1000 文字目安で記述したアピール文を添付して下さい。フォーマットは自由です。

公益社団法人

東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会

発行者 成田 卓志

〒101-0042

東京都千代田区神田東松下町 37-4

TEL 03-3252-8811

FAX 03-3252-8813

東京都はりきゅうあん摩マッサージ指圧師会  
理事公募 立候補届出書

※日付は西暦にてお願いします。

氏名	生年月日 年 月 日
自宅住所	
職場住所	
業務形態 に ○印 自営（治療院開設 訪問出張専門） ・ 勤務 療養費保険取扱 有 ・ 無	
連絡先電話番号	
連絡先メールアドレス	
資格取得年月日 はり 年 月 日 きゅう 年 月 日 あん摩マッサージ指圧 年 月 日	
他に取得された資格 柔道整復師 理学療法士 介護福祉関係 看護師 その他医療関係 心理関係 その他（ ）	
臨床実績年数（簡単に。詳細はアピール文にて）	
所属する他団体・学会等(役員等されていればその役職も)	
確認事項 正会員である 会費滞納無し	

※本書類の他に臨床実績、あはき業界や業界団体に対する思い等を1000文字目安で記述したアピール文を添付して下さい。フォーマットは自由です。

